

授業日時 2021年11月15日（月）第1校時
 授業学級 4年1組
 授業会場 4年1組教室
 授業者
 指導者

単元名

「ことばと音楽をとけあわせて」

(1) 主眼（授業の手立て&ねらい）

普段気に留まらなかったことを感じたり想像したりすることに没頭できる子どもたちが、ビリーブの『文字の楽譜』を読み解く活動を通して、詩とメロディの動き方との間に関係に気づき、曲のつくり込みに込められた作者の意図を探って、それらを感じながらビリーブを聴いたり歌ったりすることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※重要な留意点・【教材】	時間
導入	1. 楽譜の仕組みを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもの横にまっすぐ書いてあるけど、これはガタガタしてる。 ・「いーてー」で上がっている。歌詞が上がったり下がったりしている。 ・「て」と「さ」の間すごいあいていて、文字と文字の間の幅が違う。 ・メロディが上がると文字も上がっている。 ・真ん中に線がある。何の線だろう。 	【スライド1】【ワークシート】 「みんながいつも見てる歌詞と何が違う？」 ※いつも見ている横並びの歌詞と比べることで文字に動きがあると気づける。 「文字が上がったり下がったりするとメロディはどう動くのかな？」 【スライド2・3】【♪ビリーブ音源】 【スライド4】 ※文字の位置は音の高さを表していると気づく。	5
	2. 別のフレーズと比較する	<ul style="list-style-type: none"> ・なんか似てる、歌詞は違うけどメロディは同じなのか。 ・最初のところ、同じ形だね。「君が」と「ぼくが」も同じ。で、その後は「そばにいて〜」で上に上がってる！ ・凄い発見した！暗い言葉の時は真ん中の棒より下にある。 	「二つを比べると、似ている気もするよね。」 「同じ形はどこどこ？」 「違うところはどこだろう？」 ※区切れのいいところで詩を区切り、上下に表示する。それらを比較し、同じところや違うところを見つける。	5
展開	【学習問題】言葉とメロディ、この2つの間にはつくった人が込めた意味や思いがあるのかな。			
	3. 歌詞とメロディとの関係を見出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「とびらを開けるとき」と「よろこび」に変わるだろう」が同じ形をしている。 ・「い→ま」ですごく飛んでいる。 ・ワークシートの左半分は上下同じなのに、右半分は上下で違う。 ・線より下にたくさん文字がある。一番盛り上がる場所なのに、どうして線より下なのだろう。 	【スライド6（着目する点）】 【ワークシート】【♪ビリーブ】 「気づいたことや、どうしてこうなっているのかな？という疑問を楽譜にかきこもう。」 ※静かに、一人になって考える。 「どうしてその形をしているんだろう。」	10
	【学習課題】ビリーブの歌詞とメロディに込められた意味を読み解こう。			
	4. 作者の思いを受け取る	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりを持つことが信じることに繋がるってこと？ ・僕がそばにいて支えてあげるって歌詞がある。 ・思いやりって自然にも持つことができるのか。具体的にはどんなことかな。 	【スライド7】 「ビリーブを生み出した、杉本さんからメッセージがあるよ。受け取ろうか。」 ※教師が朗読し、ここからは作者の杉本さんの思いに寄り添って考えることができる。	5
	5. 友だちの気づきと疑問を、作者の思いに寄り添って考察する	<ul style="list-style-type: none"> ・「いま」なんだよ！って強く言いたかったのかな。 ・言葉は『悲しみや苦しみ』が『喜び』に変わっているから、メロディの形も変えたんじゃないかな。 ・「とびらをあげ」れば、「喜び」になる」ことができるって言いたいんだと 	「なんで飛んだのだろう。とんでないところなるよ。」 「なぜ、『I believe in future 信じてる』は違う形にしたんだろう。」 「なんで同じ形なんだろう。」 ※なぜその形になっているのか。理由を考え	5

終末	<p>6. 曲のつくり込みに込められた、作者の意図を探る</p> <p>7. ビリーブを斉唱する</p>	<p>思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きみ」じゃないかな？一番の始めに、傷づいていた。 ・「ぼく」だ。僕がそばにいてささえてあげたことは、未来のとびらを開けることで、それはよろこびに変わるってことなんだよ。 ・じゃあ、最後、なにを信じているの？ ・未来を信じているんじゃないかな。I believe in future って言っているから。 ・きみのことじゃないかな。君の未来を信じているんだと思う。きみの悲しみが喜びに変わる未来。 	<p>ることが、作者の意図を探ることになる。</p> <p>「悲しみや苦しみて、誰の苦しみのこと？」</p> <p>「未来のとびらを開けるのは誰なの？」</p> <p>※一番の冒頭部分に注目させ、曲全体を大きくとらえる。</p> <p>「何を信じているんだろう？」</p> <p>「最後に歌ってみる？」</p> <p>※教師が児童の前で指揮をする。【♪ビリーブ伴奏音源】</p> <p>※本時に気づいたり考えたりしたことを、実際に演奏することができる。作者の思いを受け取って曲を味わった子どもたちが、言語にできない心の動きを音楽で表現する。ことばと音楽をとけあわせるように。</p>	<p>10</p> <p>5</p>
----	--	--	---	--------------------

【本時の評価（評価する対象）】
 曲のつくり込みに込められた作者の意図を感じながら、ビリーブを歌うことができる。
 （ビリーブ斉唱）